

# CPRメータ2 CPRmeter 2

取扱説明書



[www.laerdal.com](http://www.laerdal.com)



**Laerdal**  
helping save lives



# 目次

---

使用目的	4
使用適応	4
重要な情報	5
構成品	6
概要	8
セットアップ - 電池の挿入	10
セットアップ - 患者用粘着パッドの取り付け	11
使用開始	12
警告と注意	14
フィードバックディスプレイの概要	15
胸骨圧迫のフィードバック	16
ディブリーフィング	20
バッテリーインジケータ	22
メンテナンスおよびクリーニング	23
仕様	26
記号	28
法規制に関する情報	30
その他の情報	37

## 使用目的

---

Q-CPR® テクノロジー搭載の CPRメータ2 は、交換可能なバッテリーで駆動する小型の軽量デバイスです。本装置は、CPR および CPRメータ2 使用の訓練を受けた者が使用するための装置です。

CPRメータ2 は、突然の心停止 (SCA) が疑われる患者の胸部に直に設置し、最新の CPR 心肺蘇生法ガイドラインに従って胸骨圧迫に関するリアルタイムのフィードバックを提供します。胸骨圧迫の深度、解除および頻度に関する CPR フィードバックの形式でディスプレイに表示します。さらに一連の圧迫数をカウントし不足した場合は通知します。

使用が適切かどうか疑いの余地がある場合には、CPRメータ2 を使わずに CPR を実施してください。

## 使用適応

CPRメータ2 は、8 歳以上の SCA が疑われる患者に対して心肺蘇生法 (CPR) を実施する場合のガイドとして使用する装置です。



使用前に、この取扱説明書を読み、本製品の操作をよく理解してください。この取扱説明書に記載された手順以外で本製品を使用しないでください。

### 警告と注意

「警告」は、重度の人身傷害や死亡につながる条件、危険を生じさせる要因または安全性に欠ける行為を特定するものです。

「注意」は、軽度の人身傷害または製品の損傷につながる条件、危険を生じさせる要因または安全性に欠ける行為を特定するものです。

### 注

「注」は、製品および取扱いに関する重要な情報を示しています。

### 購入は処方箋によってのみ可 (米国)

注意：連邦法により本機器は医師への販売または医師の指示による販売のみに制限されています。

### 警告

CPRメータ2 は、8 歳未満の SCA 患者には使用しないでください。

### 注

CPR を適切に実施しても、生存を保証することはできません。患者の中には、心停止の原因となった基礎疾患のために、生存不能になる場合があります。

# 構成品

---



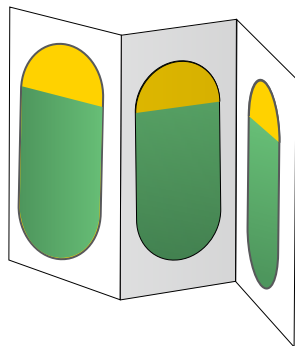
CPRメータ2



単4乾電池



ソフトケース

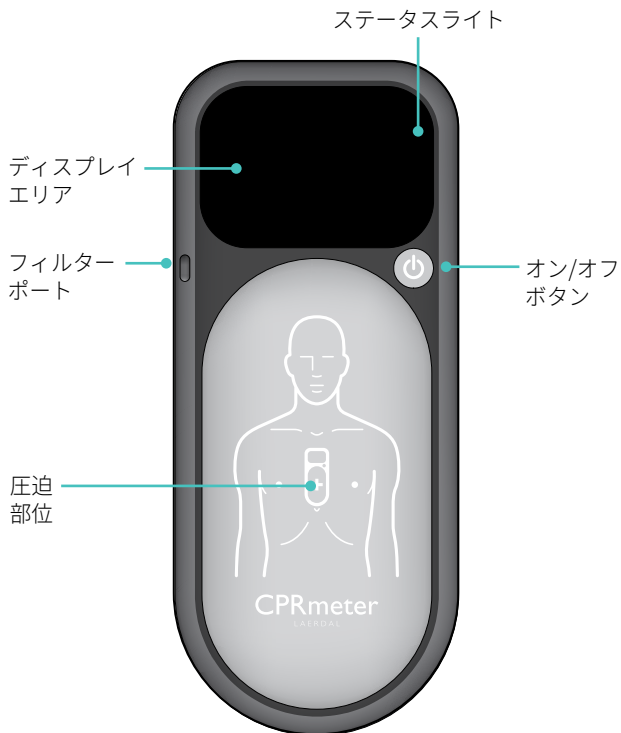


患者用粘着パッド

パッケージの外観は変更されることがあります。  
最新の製品ダウンロード、予備部品およびアクセサリについての  
詳細は、[www.laerdal.com/jp/](http://www.laerdal.com/jp/) をご覧ください。

# 概要

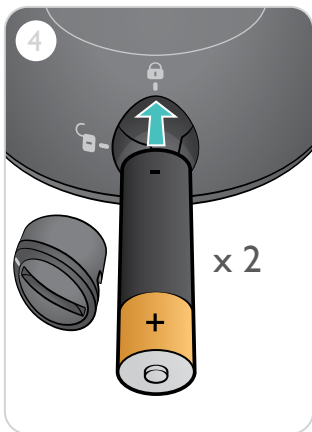
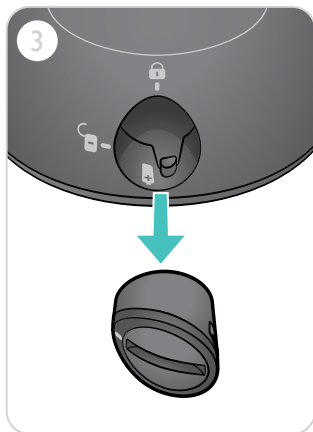
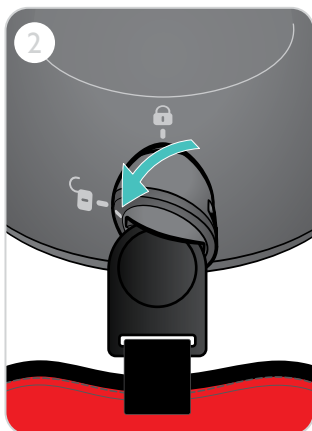
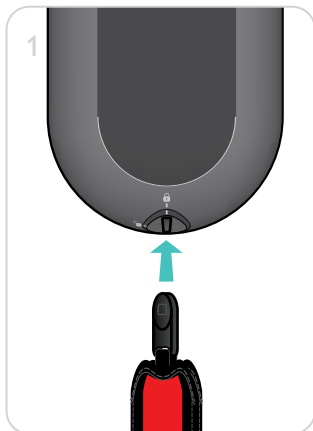
---



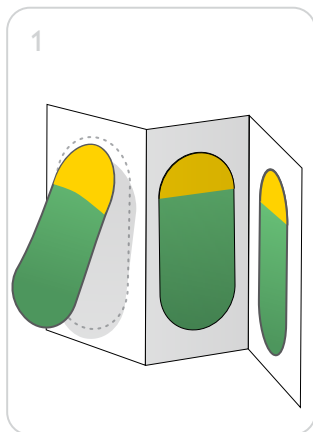




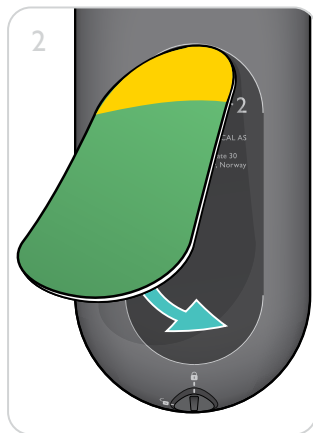
## セットアップ - 電池の挿入



## セットアップ - 患者用粘着パッドの取り付け



**⚠ 注意**  
患者用粘着パッドは使用期限前のもをお使いください。  
粘着パッドは2年ごとに交換してください。

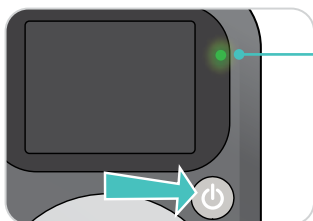


## 使用開始

### 注

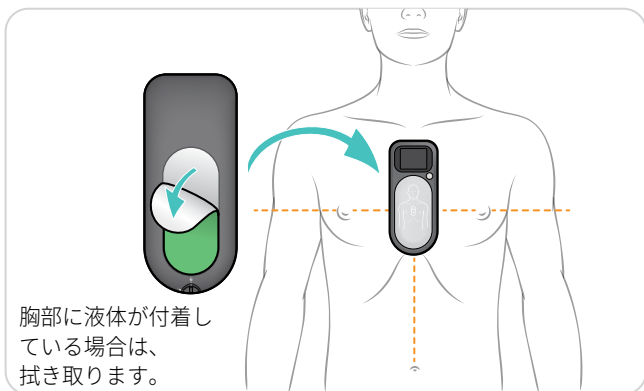
- 保護カバーから装置本体を取り出します。
- 患者が平らな場所に横たわっていることを確認します。
- 患者の胸部の衣服を取り除きます。

電源を入れます。



CPRメータ2 の電源を入れたら、ステータスライトが数秒間緑色に点灯します。

CPRメータ2 を配置します。



胸部に液体が付着している場合は、拭き取ります。

手の付け根を薄いグレーのエリアに押し付けて、圧力をかけます。



**CPR を開始します。**

現地の CPR 手順に従って胸骨圧迫を行います。

**⚠ 注意**

CPRメータ2 が使用中に動いた場合は、図のように胸部中央に配置し直してください。

## 警告と注意

---

### 警告

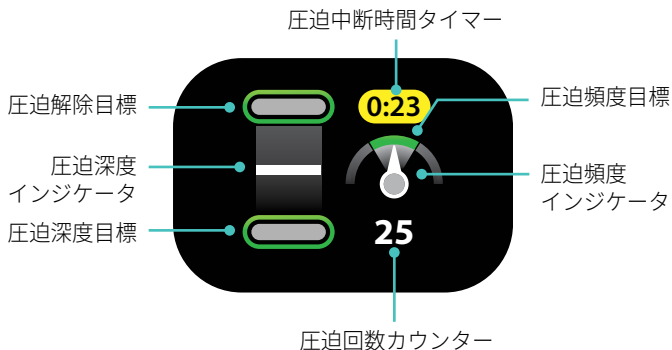
- 本装置を他の機械式または電動式心肺人工蘇生器と併用しないでください。
- 除細動器および除細動パッドのメーカーが、本装置を装着して使用可能であることを明確に示していない限り、本装置を除細動パッドに装着して使用しないでください。
- CPR の開始が遅れることのないようにしてください。本装置の使用に問題が生じた場合は、本装置を装着せずに CPR を続行してください。
- 本装置に亀裂や尖った箇所があるなど損傷が見られる場合は、使用しないでください。

### 注意

- 本装置の装着に手間取る場合は、CPR の開始を遅らせずに、本装置を取り外し、圧迫を開始します。
- ステータスライトがオレンジ色に点灯した場合、技術的障害が発生しています。その場合は、CPRメータ2 の使用を中止して、CPR を続行してください。処置の終了後、Laerdal 技術サポートまでご連絡ください。

さらにサポートが必要な場合は、国内の Laerdal 担当者までお問い合わせいただくか、[www.laerdal.com/jp/](http://www.laerdal.com/jp/) で詳細な情報やよくある質問 (FAQ) をご確認ください。

# フィードバックディスプレイの概要



# 胸骨圧迫のフィードバック

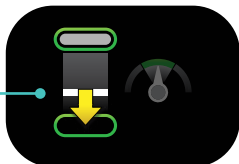
---

## 深さ

適切な深度



不十分な圧迫

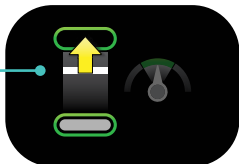


## 解除

適切な解除



不十分な解除



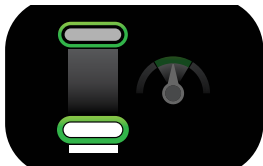
注  
圧迫ごとに完全に圧力を解除してください。



## 胸骨圧迫のフィードバック

### 柔らかい面での使用

CPRメータ2 で 60 mm を超える圧迫を検知すると、深度インジケータが目標範囲より下の位置を指します。マットレスに横たわった患者に CPR を行う必要がある場合には、バックボードを患者の下に差し込み、各胸骨圧迫につき圧迫深度目標の下の部分が点灯するように、マットレスの柔らかさを補正します。

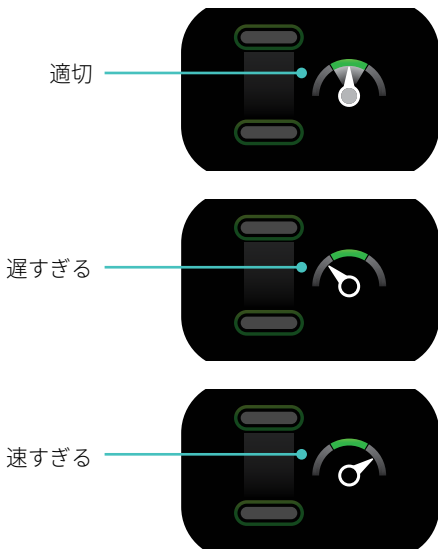


### ⚠ 警告

マットレスに横たわった患者に CPR を実施する場合、圧迫がマットレスに吸収されるのを抑えるためにバックボードを使用する必要があります。マットレス、バックボードおよび患者の状態によっては、深度を補正しても、必ずしも患者の胸部を 50 mm 圧迫できるとは限りません。

# 胸骨圧迫のフィードバック

## 頻度

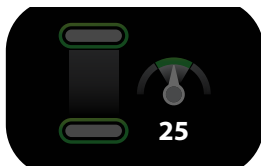


## 圧迫回数カウンター

圧迫を開始すると、25 回まではカウンターがグレーで表示されます。



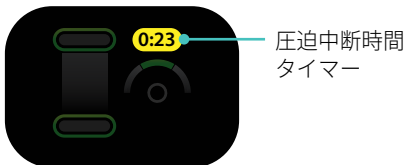
## 胸骨圧迫のフィードバック



30回の圧迫サイクルを実行しているとき、25～30回の間はカウンターが白字に変化します。30回を超えると、回数が10増えるごとにカウンターの白字が点滅します。

圧迫を3秒間止めると、カウンターはリセットされます。

### 圧迫中断時間



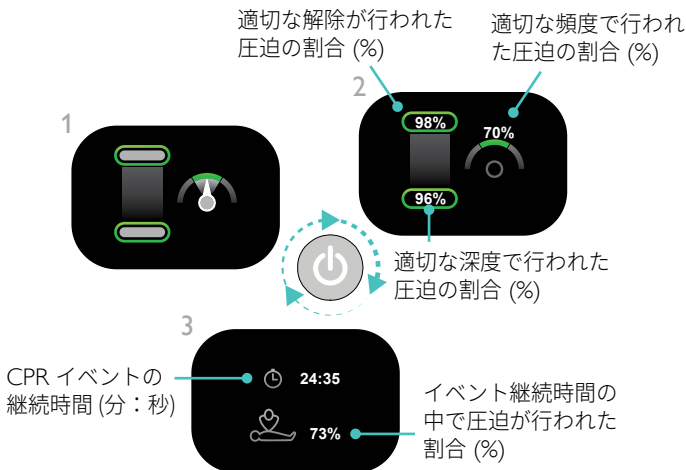
- 3秒経つと、CPRメータ2には圧迫中断時間タイマーが表示され、最後の圧迫からの経過秒数がカウントされます。
- 最後の圧迫から20秒が経過すると、圧迫中断時間タイマーが点滅し始めます。
- 省エネのため、CPRメータ2のディスプレイは1分後に暗くなります。圧迫が再開されると、画面が再表示されます。圧迫を実施しない状態で10分が経過すると、本装置は自動的に電源が切れます。

# ディブリーフィング

## QCPR クイックレビュー

CPRメータ2 は、前回の CPR イベントに関する CPR 結果分析を表示します。本装置の電源をオンにしたら、電源スイッチを軽く押して QCPR クイックレビューを有効にします。分析が 2 画面にわたり表示されます。

電源ボタンを軽く押すことで、胸骨圧迫のフィードバックと QCPR クイックレビューの画面を切り替えることができます。



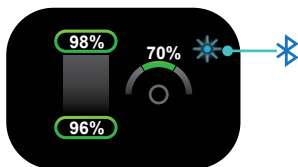
CPRメータ2 は、圧迫を実行すると胸骨圧迫のフィードバックモードに戻ります。

### 注

- CPR イベント分析は、CPRメータ2 の電源を切ると保存されます。再び電源を入れると、前回保存した CPR イベントの分析を確認することができます。
- CPRメータ2 を新規の CPR イベントに対して使用すると、QCPR クイックレビューには現在のイベントの分析が表示されます。
- CPR の結果分析は、圧迫を 10 回以上実施しないと算出されません。

### ワイヤレスデータ転送

CPRメータ2 は Bluetooth Low Energy 機能に対応しているため、すべてのイベントデータを外部のデバイスに転送することができます。



デバイスを接続するには、電源ボタンから QCPR クイックレビュー画面へ移動します。Bluetooth がオンになり接続可能になると、ステータスライトが青色に点滅します。デバイスへの接続が完了すると、青色の点滅が点灯に変わります。これで CPRメータ2 から CPR の結果データを転送する準備ができました。

### 注

臨床現場での使用時は Bluetooth 接続をオフにしてください。

# バッテリーインジケータ

## バッテリーの監視

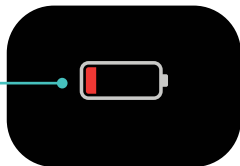
CPRメータ2 はバッテリー残量を継続的に監視します。しばらく使用していない期間があった場合は、定期的に CPRメータ2 の電源を入れて、バッテリー残量低下アイコンが表示されていないか確認するようにしてください。

バッテリー残量が CPR イベントを 30 分間実行するのに必要な容量に満たない場合、インジケータが次回の使用までに電池を交換するよう促します。



CPRメータ2 の電源を入れると、バッテリー残量低下アイコンが表示されます。

バッテリー残量低下アイコンは、CPRメータ2の電源を切っても表示されます。



## 定期メンテナンス

1. バッテリー残量は (前述の方法で) 定期的にチェックしてください。
2. 電池は少なくとも 2 年に一度交換する必要があります。
3. CPRメータ2 に患者用粘着パッドが取り付けられており、剥離紙がはがれていないことを定期的に確認します。患者用粘着パッドは、使用していなくても 2 年に一度は交換してください。

## メンテナンスおよびクリーニング

### 警告

電池交換目的のために CPR を中断しないでください。電池がなくなった場合は、CPRメータ2 のフィードバックなしで CPR を継続してください。

### 注

- 使用中にバッテリー残量が少なくなり動作を継続できなくなった場合は、バッテリー残量低下アイコンが 10 秒間表示された後、CPRメータ2 の電源が自動的に切れます。
- バッテリー残量が少なくなった電池を取り外したら、10 秒間待ってから新しい電池を入れてください。

## 使用後のケア

使用後の CPRメータ2 は汚染されている可能性があるため、適切に取り扱う必要があります。

1. 使用後の CPRメータ2 は、クリーニングを行うまでビニール袋に入れておいてください(そのままの状態でもケースに戻さないでください)。
2. 汚れが目視で確認できる場合は、柔らかい布またはペーパータオルを使って CPRメータ2 を拭き、できるだけ汚れを取り除いてください。
3. CPRメータ2 の裏面から患者用粘着パッドを取り外します。
4. 「クリーニング」と「消毒」のセクションに記載されている手順で、CPRメータ2 をクリーニングします。適切な消毒には適切なクリーニングが必要です。
5. 損傷がないかどうか CPRメータ2 の外観を確認します。必要に応じて Laerdal に交換を依頼してください。
6. 「セットアップ - 患者用粘着パッドの取り付け」に従って、本体に新しい患者用粘着パッドを貼り付けてください。

# メンテナンスおよびクリーニング

---

## マネキンでのトレーニング後のクリーニング

マネキンを使ったトレーニングに CPRメータ2 を使用した場合は、エタノール濃度 70% 以上のアルコール除菌シートで拭くだけでかまいません。

## 臨床現場での使用後のクリーニングと消毒

本装置を臨床現場で使用した場合は、クリーニングと消毒を行う必要があります。

### クリーニング

1. 低刺激性の食器用洗剤 5 ml を 4 l のぬるま湯 (40°C~50°C) に溶かして、洗浄液を作ります。
2. 小さめのブラシ (歯ブラシなど) に洗浄液をつけ、そのブラシで装置本体を 2 分以上こすり洗います。
3. フィルターポートに詰まりがある場合は、ブラシを濡らして詰まりを取り除いてください。
4. ぬるま湯 (22°C~40°C) で湿らせた柔らかい布で表面を拭きます。

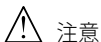
### 消毒

1. 本体表面は、イソプロピルアルコール (イソプロパノール) の 70% 溶液で消毒することができます。表面に溶液をスプレーし、濡れた状態で 12 分以上放置します。溶液は蒸発しますので、適宜スプレーし直してください。
2. 湿らせた清潔な布で表面を 3 回以上拭き、消毒液を完全に拭き取ります。
3. 完全に乾くまで乾燥させます。



## メンテナンスおよびクリーニング

---



注意

CPRメータ2 を水没させたり、流水をかけたり、水分を浸透させたりしないでください。CPRメータ2 を滅菌しないでください。

### CPRメータ2 の保管

ディスプレイに傷が付かないように、また患者用粘着パッドが破損しないように、CPRメータ2 を保護カバーに入れて保管します。保管時に誤って電源スイッチが作動しないように注意してください。

### カスタマーサービスインジケータ

シャットダウン時に CPRメータ2 にカスタマーサービスインジケータが表示された場合は、お近くの Laerdal 担当者にご連絡ください。



# 仕様

## CPR 目標

カテゴリー	仕様
圧迫深度目標	> 50 mm 深度に関する精度：±10%
圧迫解除時の目標圧力	< 2.5 kg 圧力に関する精度：+1.5 kg～-2.0 kg
圧迫頻度目標	100～120 回/分 ± 3 回/分

## CPRメータ2 [REF 801-00245]

CPRメータ2 は、IEC 60601-1 第3版の性能要件を満たします。

カテゴリー	仕様
寸法	153 mm × 64 mm × 25 mm
重量	163 g (バッテリーを除く)
バッテリー	2 × 1.5 V 単 4 乾電池
温度	輸送および保管時：-20°C～70°C 動作時：0°C～50°C 過渡温度：-20°C～70°C
最低保管温度から CPRメータ2 が目的の用途に使用できる状態まで温まるのに必要な時間は、室温で 15 分以上です。	
最高保管温度から CPRメータ2 が目的の用途に使用できる状態まで冷めるのに必要な時間は、室温で 15 分以上です。	
密閉	ISO/IEC 60529 が定める IP55 規格に適合
相対湿度	輸送時：5%～95% 保管時：5%～75% 動作時：5%～95%
大気圧 (Atm.p.)	輸送、保管および操作： 1,060～617 mbar
電磁両立性	IEC 60601-1-2 および RTCA/DO-160F Section 21 Category M に適合
除細動保護	CPRメータ2 は除細動保護された、BF 形の患者接続機器です。

## CPRメータ患者用粘着パッド [REF 801-10850]

CPRメータ2 患者用粘着パッドは使い捨てで、各パッド患者 1 名にしか使用できません。再使用しないでください。再使用すると、二次汚染リスクの上昇、および/または粘着力の低下につながります。









カテゴリー	仕様
寸法	39 mm × 90 mm
温度	輸送および保管時：-20°C~70°C 動作時：0°C~50°C
相対湿度	輸送時：0%~75% 保管時：0%~75% 動作時：0%~95%
素材	両面が生体適合粘着パッドのフォームパッド
保存期間	CPRメータ2 に取り付け後 2 年間、未開封の場合 4 年間。パッケージ記載の有効期限を超えないようにしてください。

## 環境への配慮

製品	情報
CPRメータ2	CPRメータ2 には電子部品が含まれます。各地域の規制に準拠して適切なリサイクル施設に廃棄してください。
CPRメータ患者用粘着パッド	使用済みの患者用粘着パッドは、生体組織、体液または血液により汚染されている可能性があります。感染性廃棄物として廃棄してください。

## 記号

記号	定義
	CE マーク
	再使用不可
	除細動保護
	製造元
	廃電気電子機器 (WEEE) お住まいの国の要件に従い廃棄してください。
	参照注文番号
	保護等級 - あらゆる方向からの少量の埃や低圧の水しぶき に対して耐性を備えています。
	使用期限
	天然ゴムラテックスは含まれていません。
	警告/注意
	注
	輸送/保管時の温度制限
	「#」は同包されている CPRメータ2 患者用粘着パッドの 枚数です。
	取扱説明書を参照する

	「はがす」マーク
	8歳未満の小児には使用しないこと
	オーストラリア RCM マーク
	Bluetooth 記号
	注意: 米国連邦法により本機器は医師への販売または医師の指示による販売のみに制限されています。
	韓国認証マーク
	日本 MIC 認証
	CSA 認証マーク

## 法規制に関する情報

---

### 警告

- CPRメータ2 を除細動器と併用する場合は、除細動器のメーカーの指示書に従ってください。適切な除細動手順に従って、除細動中および必要な場合は圧迫をやめ、CPRメータ2 から両手を離し、患者との接触を避けてください。
- CPRメータ2 は空路、海路または陸路の救急車等の移動環境での使用を意図して作製されていません。患者の輸送中に使用すると不正確なフィードバックが表示されるおそれがあります。CPR を移動環境にて適応する場合は、本装置の深度フィードバックを参考にしないでください。患者から本装置を取り外す必要はありません。
- CPRメータ2 を人体に使用して CPR の練習をしないでください。本装置を練習に使用する場合は、トレーニング用のマネキンあるいは練習に適した物品の表面をお使いください。
- 適切に CPR が実施されても、患者の肋骨が折れることがあります。<sup>1</sup> 肋骨の骨折が発生した場合は、各地域の CPR 手順に従って CPR を継続します。
- 適切に CPR が実施されても、胸部打撲や擦過傷などの胸部外傷<sup>1</sup> につながる可能性があります。
- 航空機の昇降中は、CPRメータ2 の測定値が不正確になるため、フィードバックを参考にしないでください。

### 注意

- CPRメータ2 を開放創や切開したばかりの部位に使用しないでください。
- 本装置は、Laerdal 指定のアクセサリと併せて使用することを想定しているため、指定外のアクセサリを使用した場合、正しく機能しないことがあります。いかなる形であっても本装置を改造しないでください。
- CPRメータ2 には、801-10850 患者用粘着パッドのみを使用してください。
- CPRメータ2 は修理できません。技術的障害が発生した場合は、お近くの Laerdal 販売代理店もしくはカスタマーサービスまでご連絡ください。

---

<sup>1</sup> Black CJ, Busuttill A, Robertson C. Chest wall injuries following cardiopulmonary resuscitation. Resuscitation. 2004 年 ; 63:339 – 34。



注

Laerdal Medical の明示的な承認なしに変更や改造を行った場合、本機器に関わるユーザー権限が無効となる場合があります。

## 推奨事項

対応者は、定期的な再教育など、CPRメータ2の使用に関するトレーニングを受ける必要があります。本装置のトレーニングに CPR マネキンを使用する場合は、マネキンからのフィードバックを無効にするか、無視してください。



WEEE

本機器は、廃電気電子機器 (WEEE) に関する EU 指令 2012/19/EU に従って表示されています。

本製品の廃棄を適切に行うことにより、本製品の不適切な廃棄処理により生じる環境および人間の健康に対する潜在的な悪影響を防止することができます。

本製品に記載された記号は、本装置を家庭ごみとして取り扱うことができないことを示すものです。本製品を、適切な電気機器および電子機器のリサイクル収集所へ持ち込むようにしてください。

廃棄物処理に関する地域の環境規制に則って廃棄してください。

本製品の取扱い、回収およびリサイクルに関する詳細については、居住地の地方自治体、家庭ごみ処理サービス業者、または製品を購入された Laerdal 代理店までお問い合わせください。



本製品は、欧州理事会指令 2007/47/EC および欧州理事会指令 2014/53/EU により修正された理事会指令 93/42/EEC の基本要件に準拠しています。

日本

MIC 認証 - 203-JN0839

韓国認証

MSIP-CMM-Lm1-801-00243

## 法規制に関する情報

---

### Federal Communications Commission (FCC) and Industry Canada (IC) Statements

This device complies with part 15 of the FCC rules and RSS-210 of the Industry Canada rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference, and
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC ID: QHQ-801002

IC: 20263-801002

The term "IC" before the equipment certification number only signifies that the Industry Canada technical specifications were met.



## 電磁適合性

指針および製造元による宣言: CPRメータ2 は、以下の表に記載する電磁環境で使用するための装置です。


CPRメータ2 の使用者は、このような環境での使用を保証するものとします。

## 電磁放射線

エミッション試験	コンプライアンス	電磁環境指針
RF CISPR 11	グループ 1 クラス B	CPRメータ2 は、内部機能専用で RF エネルギーを使用します。そのため、RF 放出は極めて少なく、付近の電子機器に干渉を起こす可能性はありません。 CPRメータ2 は、すべての建物での使用に適しており、これには、一般家屋、および居住用建物に供給する公共の低電圧サプライネットワークに直接接続された家屋などが含まれます。

# 法規制に関する情報

## 電磁イミュニティ

イミュニティ試験	IEC 60601試験レベル	コンプライアンスレベル	電磁環境 - 指針
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	±6 kV 接触 ±8 kV 空気中	±6 kV 接触 ±8 kV 空気中	静電気放電に関しては、特別な要件はありません。
電源周波数 (50/60/400 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/分	3 A/分	電源周波数磁界は、一般的な商業/病院環境の一般的な場所に典型的なレベルであることとします。非商業/非病院環境に対する特別な要件はありません。
放射 RF IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz～ 2.5 GHz	3 V/m	ポータブルおよびモバイル RF 通信装置は、CPRメータ2のいかなる箇所にも必要以上に近づけて使用しては絶対に行いません。また、さまざまな送信機および CPRメータ2の推奨分離距離を以下の表に示します。以下の記号が付いた装置の近くでは、干渉が起こる可能性があります: 

† 150 kHz～80 MHz の ISM (工業、科学および医用) 帯域は次の通りです:  
6.765 MHz～6.795 MHz、13.553 MHz～13.567 MHz、26.957 MHz～  
27.283 MHz、および 40.660 MHz～40.700 MHz。

‡ 無線 (携帯/コードレス) 電話および陸上移動無線用の基地局、アマチュア無線、AM/FM ラジオ放送、およびテレビ放送などの固定送信機の電界強度は、理論的に正確な予測が不可能です。固定 RF 送信機に起因する電磁環境の評価には、電磁界の現地調査を考慮する必要があります。CPRメータ2 が使用される場所の電界強度が上記の RF コンプライアンスレベルを超える場合には、正常に動作することを確認するために CPRメータ2 を監視する必要があります。動作異常が確認された場合は、CPRメータ2 の再配置または移動などの追加措置を取る必要があります。

### ポータブルおよびモバイル RF 通信装置と CPRメータ2 間の推奨される分離距離

CPRメータ2 は、放射 RF 妨害が制御されている電磁環境で使用するための装置です。お客様または CPRメータ2 のユーザーは、通信装置の最大出力に従って、以下に推奨するポータブルおよびモバイル RF 通信装置 (送信機) と CPRメータ2 間の最低分離距離を維持することで、電磁妨害を防ぐことができます。

# 法規制に関する情報

## 電磁放射線

送信機の最大 定格出力 [W]	発信機の周波数に基づく分離距離 [m]		
	150 kHz～ 80 MHz	80 MHz～ 800 MHz $d=1.2\sqrt{P}$	800 MHz～2.5 GHz $d=2.3\sqrt{P}$
0.01	なし	0.12	0.23
0.1	なし	0.38	0.72
1	なし	1.2	2.3
10	なし	3.8	7.28
100	なし	12	23

上記の表に最大定格出力が表示されていない送信機については、推奨される分離距離  $d$  (m) は、送信機の周波数に適用される式を用いて算出できます。ここで  $P$  は、送信機製造業者による、送信機の最大定格出力 (W) となります。

注 1. 80 MHz および 800 MHz では、周波数範囲の高いほうの分離距離が適用されます。

注 2. 150 kHz～80 MHz の ISM (工業、科学および医用) 帯域は次の通りです：6.765 MHz～6.795 MHz、13.553 MHz～13.567 MHz、26.957 MHz～27.283 MHz、および 40.660 MHz～40.700 MHz。

注 3. モバイル/ポータブル通信装置が、意図せず患者付近に持ち込まれた場合に発生する妨害を軽減するために、ISM 周波数帯域が 150 kHz～80 MHz であり、かつ周波数範囲が 80 MHz～2.5 GHz である送信機の推奨される分離距離の算出には、10/3 の係数を追加します。

注 4. この指針はすべての状況に適用されるとは限りません。電磁波の伝搬は、建造物、物体、人に対する吸収および反射の影響を受けます。

注 5. この電力レベルの送信機/アンテナは、緊急車両の車体に搭載される可能性が最も高いものです。ここに記載された距離は、オープンフィールド専用です。外部アンテナに関しては、分離距離が短くなる可能性が高いと考えられます。

### 保証

Laerdal CPRメータ2 の保証は 1 年間の限定保証です。  
諸条件については「Laerdal グローバル保証」をご参照ください。

### 本版について

本書の情報は、CPRメータ2 801-00245 モデルに適用されます。  
本情報は変更される可能性があります。

Q-CPR® 搭載の CPRメータは、米国およびその他諸外国の特許により保護されています。CPRメータのデザインおよびフィードバック記号は、国際意匠登録により複数の地域で保護されています。

Q-CPR® はLaerdal Medical ASの登録商標です。





Laerdal® は Laerdal Medical AS の登録商標です。  
CPRmeter 2 は Laerdal Medical AS の登録商標です。  
© 2019 Laerdal Medical AS. All rights reserved.

製造元: Laerdal Medical AS  
P.O. Box 377, Tanke Svilandsgate 30,  
4002 Stavanger, Norway  
電話: (+47) 51511700

ノルウェー国内で印刷

20-14392 改訂 C

[www.laerdal.com](http://www.laerdal.com)



**Laerdal**  
helping save lives